

# その他風水害に関わる知識

## 都市型水害(集中豪雨)

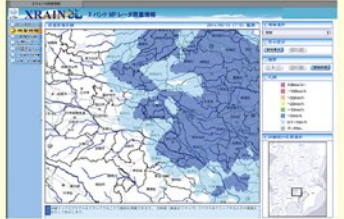
近年都市部では、集中豪雨による浸水被害が増える傾向にあります。西東京市をはじめ都市部の下水道の多くは、1時間の雨量が50ミリメートルを基準に計画されています。しかし、東京では91ミリメートルを記録したこともあり、想定を超える大雨が降れば大きな被害が発生することが予想されます。

都市部では地表面がアスファルトやコンクリートなどにおおわれており、大半の雨水は地下に浸透せず、下水道や河川に集中して流れ込み、許容量をオーバーした雨水が市街地に洪水を引き起こすこととなります。平成12年9月に起こった東海豪雨は7万戸以上の浸水被害をもたらしました。これは典型的な都市型水害といえます。都市部での集中豪雨は私たちの想像以上に大きな被害をもたらす場合があるので、十分な注意が必要です。

### ◆ XRAIN(エックスレイン)の活用

都市域等に高頻度、高分解能なXバンドMPレーダを導入し、局地的な大雨(いわゆるゲリラ豪雨)や集中豪雨の被害低減に向けた実況観測を強化しています。

国土交通省では近年の豪雨対策として、従来の広域レーダに加え、より早く、より詳細に観測できる、XバンドMPレーダ雨量観測(XRAIN(エックスレイン))の運用を開始しています。



- 人が歩ける水の深さは男性で約70cm、女性で約50cmです。水深が腰までであるような高い所で救助を待ちましょう。
- はだしや長靴は禁物です。動きやすい運動靴をはきましょう。

### ゲリラ豪雨とは

あちこちで短い時間に非常に激しく雨が降る状況のことを、一部の報道機関などで「ゲリラ豪雨」と呼んでいます。しかし、この言葉は気象庁では使用しておらず、正式な用語ではありません。気象庁は「ゲリラ豪雨」と同義語の「局地的大雨」を使用しています。

### 局地的大雨

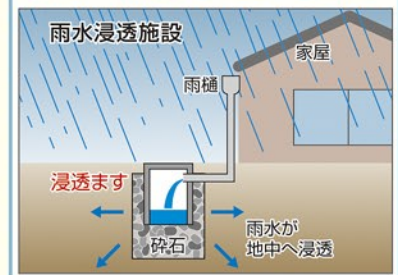
急に強く降り、数十分の短時間に狭い範囲に数十mm程度の雨量をもたらす雨を言います。「局地的な大雨」とも言います。単独の積乱雲が発達することによって起き、大雨や洪水の注意報・警報が発表される気象状態でなくても、急な強い雨のため河川や水路等が短時間に増水する等、急激な状況変化により重大な事故を引き起こすことがあります。

### 雨水浸透施設助成制度

屋根に降った雨を地下に浸透させ、地下水のかん養や、雨水の河川や下水道への直接流出を抑制し、大雨による浸水・洪水被害を緩和するために、「雨水浸透施設」設置費用の一部を助成しています。

#### 【お問い合わせ】

西東京市役所 都市整備部下水道課 工務係 電話 042-438-4059(直)



## 竜巻から身を守る

(気象庁による)

竜巻は、数分~数十分で長さ数km~数十km・幅数十m~数百mに被害をもたらす、被害地域は帯状となります。強い竜巻に襲われると、強い風によって建物が倒壊したり、車が転倒することがあります。人が風に飛ばされるだけでなく、ものが猛スピードで飛んでくることも竜巻のおそろしさです。

建物の中にも、飛んできたものが窓ガラスを割ったり、壁に刺さったりするので注意が必要です。

## 竜巻が発生する可能性を知るには

竜巻が発生する可能性に応じて、事前に段階的に情報が発表されます。

半日~1日前	気象情報	竜巻が発生しやすい気象状況かどうか事前に確認。
数時間前	雷注意報	外出前に最新の注意報を確認し、竜巻に留意。
0~1時間前	竜巻注意情報	今、まさに竜巻の発生しやすい気象状況となっていることをお知らせするものです。まずは空の様子に注意してください。積乱雲が近づく兆しを感じたら、直ちに身の安全を確保してください。竜巻注意情報は、テレビ、ラジオや自治体のメールサービス等で入手できます。

※竜巻注意情報が発表されていなくても、竜巻が発生することがあります。普段から、空の変化や積乱雲の近づく兆しに注意してください。

竜巻が発生する可能性が高い領域を確認するために...

「竜巻発生確度ナウキャスト」(詳細なエリアを10分毎に情報提供)

○激しい突風が発生する可能性が高い領域を2段階の発生確度で表します。

(PC) <http://www.jma.go.jp/jp/radnowc/> (携帯) <http://www.jma.go.jp/jp/bosaijoho/m/radnowc/>

## 風水害後の点検

- 断線している電線を発見した時には、子どもが近づかないように注意をし、すぐに電力会社へ通報してください。
- 屋根瓦やアンテナなどが破損している場合など、落下の危険があるものは、除去や補修をおこないましょう。
- ガスや石油など危険物の漏れ出しがあれば、周囲の人に危険を知らせ、ガス会社や消防署に通報してください。
- 浸水の後は消毒をおこないましょう。特に床上浸水の場合は、畳や家具などの日光消毒も十分おこないましょう。